■令和３年度　群馬県立図書館サービスに対する評価結果について

公立図書館は、その目的と社会的使命を達成するため、時代の変化や要請に対応しながら、図書館利用者に質の高いサービスを提供していくことが求められています。

このことを実現するため、群馬県立図書館では、当館が目標としている主要なサービスについて、平成２４年度から評価指標及び数値目標を設定し、その達成に向けて取り組んできました。

令和３年度の目標値に対する取り組み結果は次のとおりです。

目　　標	評 価 指 標	実績		評価
		（目標値）	達成率	
①読書活動の推進	**自館図書資料貸出冊数**	**224,447** （212,000冊）	105.9%	A
	ビブリオバトル参加者数	**53** （90人）	58.9%	C
②高度な専門的情報サービスの提供	**調査相談件数**	**4,856** （5,200件）	93.4%	A
	受入資料平均単価	**3,886** （3,500円）	111.0%	A
③図書館ネットワークの充実強化	**県域相互貸借点数**	**29,452** （31,000点）	95.0%	A
	横断検索システムの検索件数	**303,295** （264,000件）	114.9%	A
④県内図書館等に対する支援の充実	**図書館等職員研修参加人数**	**277** （150人）	184.7%	A
	協力レファレンス件数	**46** （76件）	60.5%	C
	学習支援図書貸出冊数	**5,795** （6,500冊）	89.2%	B
⑤群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存	**郷土資料受入冊数**	**2,418** （2,200冊）	109.9%	A
	デジタルライブラリーへのアクセス件数	**25,187** （17,900件）	140.7%	A
⑥情報発信の充実等	**ホームページアクセス件数**	**717,916** （767,000件）	93.6%	A
	メディア掲載等件数	**24** （25件）	96.0%	A

○基本指標

基本指標は、直接的な目標数値は設定しませんが、図書館が取り組む読書活動推進の結果の指標とするものです。目標を「県域の読書活動の推進」とし、最も重要な基本指標を設定しました。

目　標	基 本 指 標	直近の実績値比較(R3年度／R2年度)	
県域の読書活動の推進	**県域公共図書館等の資料貸出数(＊)／県人口100人当たり**	496／428（点）	115.9%
	（参考値）県立図書館の状況		
	・入館者数	128,039／121,315(人)	105.5%
	・図書資料個人貸出点数	263,547／220,623(冊)	119.5%
	・貸出点数／人口１万人当たり	1,376／1,142(点／1万人)	120.5%

(＊)議会図書館・点字図書館を含む

○評価基準

評 価	評　価　内　容	評価の目安
A	数値目標をほぼ達成し、期待する成果があった。	９０%以上
B	数値目標まで達成していないが、一定の成果があった。	７０%以上９０%未満
C	数値目標が達成できず、成果が不十分であった。	７０%未満

１．読書活動の推進

①自館図書資料貸出冊数（新規）

（来館＋他館への相互貸借）

<table>
<tr><td>指標の説明</td><td colspan="4">１階中央図書室・子ども読書相談室の図書資料及び、相互貸借（団体貸出を含む）による図書資料の貸出冊数を指標とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目標値の
達成状況</td><td>目標値</td><td colspan="2">実績／達成率</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>212,000</td><td>224,447</td><td>105.9%</td><td>A</td></tr>
<tr><td>目標値設定
の考え方</td><td colspan="4">令和２年度の中央図書室・子ども読書相談室で172,921冊、相互貸借で10,148冊、計183,069冊の貸出があった。
令和３年度はコロナ禍による長期閉館がない場合、年間開館日は283日で令和２年度の242日に対して16%増となる見込みであることから
183,069冊(R2年度)×116％＝212,360冊
⇒　212,000冊（百点冊未満四捨五入）を目標値とする。</td></tr>
<tr><td>評価分析</td><td colspan="4">令和３年度の中央図書室・子ども読書相談室で213,217冊、相互貸借で11,230冊、計224,447冊の貸出があった。
貸出数の対前年比でも、中央図書室・子ども読書相談室で123.3%、相互貸借で106.3%とそれぞれ増加している。相互貸借は県内図書館(室)に対して相互貸借の制度利用をアピールした結果、活性化が図られたものと考える。</td></tr>
</table>

②ビブリオバトル参加者数

<table>
<tr><td>指標の説明</td><td colspan="4">ビブリオバトル大会の参加状況は、高校生や県民の読書活動推進の目安となるため、ビブリオバトル大会参加者数を指標として設定する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目標値の
達成状況</td><td>目標値</td><td colspan="2">実績／達成率</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>90</td><td>53</td><td>58.9%</td><td>C</td></tr>
<tr><td>目標値設定
の考え方</td><td colspan="4">令和3年度は募集定員の100％を目標値とする。募集定員は、群馬県のイベント実施ガイドラインにより、会場収容人数200人の半数以内とした。
（募集定員）発表者(20人)、観戦者(60人)、ボランティア(10人)、計 90人</td></tr>
<tr><td>評価分析</td><td colspan="4">当初発表者１名に対して観戦者３名と設定していたが、令和３年夏のコロナウイルス第５波により、発表者１名に対し観戦者を１名と制限したことから、目標値を下回ることとなった。</td></tr>
</table>

２．高度な専門的情報サービスの提供

①調査相談件数

指標の説明	調査相談機能の強化とさらなる充実を目指すため、県立図書館の重要な業務の一つであるレファレンスサービスのうち、利用相談（書架案内や所蔵調査）を除く調査相談（事柄や事実調査、文献調査などの専門的情報提供サービス）の件数を指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	5,200	**4,856**	**93.4%**	**A**
目標値設定の考え方	この指標は主に調査相談室等のカウンターで対応した調査相談件数に関する数値であり、開館時間の増減の影響を受ける。令和３年度も新型コロナウィルス感染症拡大防止のための対応として、12時から13時の1時間の閉館が続くことが見込まれる。そこで、通常開館していた過年度２年間（Ｈ３０・Ｒ１）の平均件数の約９０％を目標値として設定する。 （参考実績 H30：6,176件、R1：5,567件、R2：4,838件） 算式：（６，１７６件＋５，５６７件）／２×９時間／１０時間 ≒５，２８４件 ⇒ ５，２００件（百件未満切捨）			
評価分析	・前年度並みの実績値となった。（Ｒ２年度：４８３８件）新型コロナウィルス感染症対応のために利用制限をかけた影響は大きく、群馬県の警戒レベルが下がり通常開館に近い状況にあっても、コロナ禍以前の利用者が思ったようには戻っていない感がある。 ・当館の調査相談室は群馬県関係資料が充実しており、地域の歴史・文化に興味関心を抱く高齢者の利用が多い傾向にあったが、コロナ禍以降、感染への警戒から利用を控える方が多く、図書館通いが途絶えてしまった印象がある。 ・ＳＮＳを活用して、若年層への調査相談室やレファレンスの周知を図っているところであるが、引き続き取り組んでいきたい。			

②受入資料平均単価（新規）

指標の説明	県民と県域の公共図書館等へ高度な専門的情報サービスを提供する県立図書館の役割を踏まえ、調査研究のための専門資料、レファレンス資料、群馬県に関する資料などの専門的資料を継続的に収集していく必要がある。さらに、市町村立図書館の購入する図書資料との棲み分けを明確にすることも求められている。専門的資料は、ページ数(文字数)、索引の充実など製作コストがかかる一方で、多部数販売を見込めないために一般的には高額になる傾向がある。平均単価額は、この専門性と価格の相関に着目し、高度専門的資料の収集割合を示す指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	3,500	**3,886**	**111.0%**	**A**
目標値設定の考え方	当館受入資料の平均単価の実績に基づき、目標とする平均単価を設定した。 実績値　平均単価　（資料購入予算） ・令和２年度　３，７３０円　（５０，５１２千円） ・令和元年度　３，１５９円　（５０，５１２千円） ・平成30年度　３，２０７円　（５０，５１２千円） ・平成29年度　３，４３１円　（３０，５１２千円）			
評価分析	調査研究のための専門資料、レファレンス資料、群馬県関係資料などに重点を置いた選書を行い、市町村立図書館との棲み分けに留意した。			

３．図書館ネットワークの充実強化

①県域相互貸借点数（新規）

<table>
<tr><td>指標の説明</td><td colspan="4">相互貸借システムの活用状況は、県民の読書推進を全県的に進めていくための目安となるため、県域の相互貸借点数を指標として設定する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目標値の
達成状況</td><td>目標値</td><td colspan="2">実績／達成率</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>31,000</td><td>29,452</td><td>95.0%</td><td>A</td></tr>
<tr><td>目標値設定
の考え方</td><td colspan="4">「県域相互貸借点数」は令和３年度に新設した評価指標である。目標設定段階において令和２年度実績は県立図書館分以外は未集計であったため、令和元年度実績31,766件を目標値とした（千冊未満切捨て）。</td></tr>
<tr><td>評価分析</td><td colspan="4">令和３年度は令和元年度の31,766件を下回るものの、令和２年度の25,190件を上回る実績となった。新型コロナウイルスの感染予防の観点等から利用者数に予期し得ない動きも想定されることから、各市町村等へのＰＲと制度周知を徹底し、利用者数を安定させたい。</td></tr>
</table>

②横断検索システムの検索件数

<table>
<tr><td>指標の説明</td><td colspan="4">県立図書館の横断検索システムは、県内図書館の資料を一元的に検索できるシステムであり、その利用の多少が図書館利用の一つの目安となる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目標値の
達成状況</td><td>目標値</td><td colspan="2">実績／達成率</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>264,000</td><td>303,295</td><td>114.9%</td><td>A</td></tr>
<tr><td>目標値設定
の考え方</td><td colspan="4">新型コロナウィルス拡大終息が不透明で、資料利用ニーズの予測が困難であることから、令和２年度実績を目標値とする。</td></tr>
<tr><td>評価分析</td><td colspan="4">横断検索件数は平成２９年度以降増加しており、令和３年度実績も増加となった。平成２８年度以前は県内図書館からの横断検索が半数以上であったが、平成２９年度以降は県内図書館以外からの横断検索数がそれを上回っており、横断検索の利便性が一般利用者にも広まった結果と考える。</td></tr>
</table>

４．県内図書館等に対する支援の充実

①図書館等職員研修参加人数

指標の説明	県立図書館が開催する研修会の開催状況は、人材育成支援充実の目安となるため、特に、実務的な内容の「図書館(室)職員司書実務研修」と、学校図書館の利活用促進を内容とする「学校図書館研修会」を取り上げ、二つの研修会の参加人数を指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	150	**277**	**184.7%**	**A**
目標値設定の考え方	Ｒ３年度募集定員の100％を目標値とする。 図書館(室)職員実務研修：100人 学校図書館研修会：50人 算式：100人＋50人＝150人			
評価分析	コロナウイルス感染防止としてオンラインでの研修開催となったが、このことにより会場の物理的制約がなくなり、特に「図書館(室)職員司書実務研修」では多くの参加者を集めることが可能となった。			

②協力レファレンス件数

指標の説明	地域の情報拠点として、県内の公共図書館や学校・大学図書館で解決できないレファレンス事案について、高度な質問に対応できる専門性を備えた職員が所蔵するレファレンスツール（辞書・事典、各種データベース等）や専門的資料を活用して解決の支援を行う。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	76	**46**	**60.5%**	**C**
目標値設定の考え方	「協力レファレンス件数」は令和２年度から新設した評価指標である。そこで、参考値の令和元年度実績（81件）及び２年度の実績（72件）の平均値を目標値として設定する。 算式：（８１件＋７２件）／２＝７６．５件 ⇒ ７６件			
評価分析	県のガイドラインに基づく警戒レベルに応じ、対面での会話を要するレファレンスの受付には制限をかける公共図書館も多く、協力レファレンスの申込みもあまり来なかった。 コロナ禍の影響を見据えつつ、どのように県内図書館のレファレンス支援を行えるか、市町村図書館のレファレンスサービスの実態を把握し、広報の仕方や支援のあり方について考えていきたい。			

③学習支援図書貸出数

指標の説明	学習支援図書セットの貸出状況は、小・中・高等学校における学習活動での図書活用の目安となるため、学習支援図書貸出冊数を指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	6,500	**5,795**	**89.2%**	**B**
目標値設定の考え方	令和２年度実績を目標値とする（百冊未満切捨て）。			
評価分析	学校でのニーズが把握しきれなかったと考える。引き続き学校でのニーズ把握に努めたい。			

５．群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存

①郷土資料受入冊数

指標の説明	群馬県関係資料の県内最終保存館として、図書資料・視聴覚資料を問わず群馬県関連資料を網羅的に収集する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	2,200	**2,418**	**109.9%**	**A**
目標値設定の考え方	郷土資料は一般の流通ルートに乗らない非商業出版物が多く、年間の出版点数を把握することは難しいため、直近3年間の収集実績冊数を参考にして、その平均値2,200(百冊未満切捨)を目標値とする。 （参考実績 H30：2,155冊、R1：2,216冊、R2：2,222冊） 算式：(2,155冊＋2,216冊＋2,222冊)／3≒2,197冊⇒2,200冊			
評価分析	新聞、出版目録、各種カタログ等から郷土資料の出版情報をつかみ、収集を行った。またWeb古書店も効果的に活用し、コロナ禍にあっても購入につなげることができた。行政資料については通常の収集に加えて欠号調査を実施し、欠号を寄贈依頼して遡及分の収集にも努めた。こうした業務の積み重ねで目標を達成することができた。今後も群馬県関係資料の網羅的な収集に努めたい。			

②デジタルライブラリーへのアクセス件数

指標の説明	郷土資料や貴重書をデジタル化してインターネット上で公開するデジタルライブラリーにより、所蔵資料の保存と利用の促進を図る。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	17,900	**25,187**	**140.7%**	**A**
目標値設定の考え方	令和３年３月のデジタルライブラリー県域化によりコンテンツが充実し、アクセス数増加が想定されることから、令和２年度実績を目標値とする。			
評価分析	前年度実績と比較して、アクセス数は大幅に増加した。新型コロナウイルス感染症拡大による非来館型サービスの需要の増加と、令和２年度より実施しているデジタルライブラリー県域化が要因と考えられる。			

６．情報発信の充実等

①ホームページアクセス件数

指標の説明	ホームページの利活用の増進を図る。 件数はページビュー数（Ｗｅｂページ閲覧数）とする。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	767,000	**717,916**	**93.6%**	**A**
目標値設定の考え方	ホームページアクセス数の指標をセッション数（訪問数）からページビュー数（Ｗｅｂページ閲覧数）に変更して1年が経過し、対前年比較が可能となったことから、令和２年度実績を目標値とする。なお、この指標は、ＯＰＡＣ(オンライン蔵書目録検索システム）のアクセス数を含まない。			
評価分析	ホームページアクセス件数は平成２８年度以降増加傾向にあったが、令和元年度以降は減少傾向にある。昨年度との比較では微減であった、件数減少の要因として、コロナ禍によるイベント減少が考えられる。困難な状況下であったが、限定動画の公開やSNSの定期的な更新といった取り組みにより、アクセス数の減少は僅かなものとなったと考える。			

②メディア掲載等件数

<table>
<tr><td>指標の説明</td><td colspan="4">県立図書館で実施する資料展示等の事業やボランティア活動などについて、新聞社等に積極的な情報発信を行い、利用の促進を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目標値の
達成状況</td><td>目標値</td><td colspan="2">実績／達成率</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>25</td><td>24</td><td>96.0%</td><td>A</td></tr>
<tr><td>目標値設定
の考え方</td><td colspan="4">令和３年度はコロナ禍のため４月から６月の３ヶ月間の催しの多くが中止となっている。７月以降も新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施の困難が想定されることから、昨年度実績と同値とした。</td></tr>
<tr><td>評価分析</td><td colspan="4">コロナ禍の中で、図書館こどもまつりなどが中止になり、各種行事も規模を縮小して実施したが、実施した行事については概ね新聞記事に掲載されている状況であった。
そのほか、実績の２４件に含まないが、「県有施設のあり方見直し」に関連した当館に関わる記事が６件、新型コロナに関連した当館に関わる記事が５件あった。</td></tr>
</table>